

東三鷹学園三鷹市立北野小学校長 山根 まどか  
東三鷹学園三鷹市立第六中学校長 毛利 亜紀  
東三鷹学園三鷹市立第一小学校長 牛山 聡

## 令和7年度 学園・学校評価結果

1 1月に実施した学園・学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。この結果を踏まえ、学園・学校としての今年度の教育活動を振り返り、来年度の方針を立てていきます。

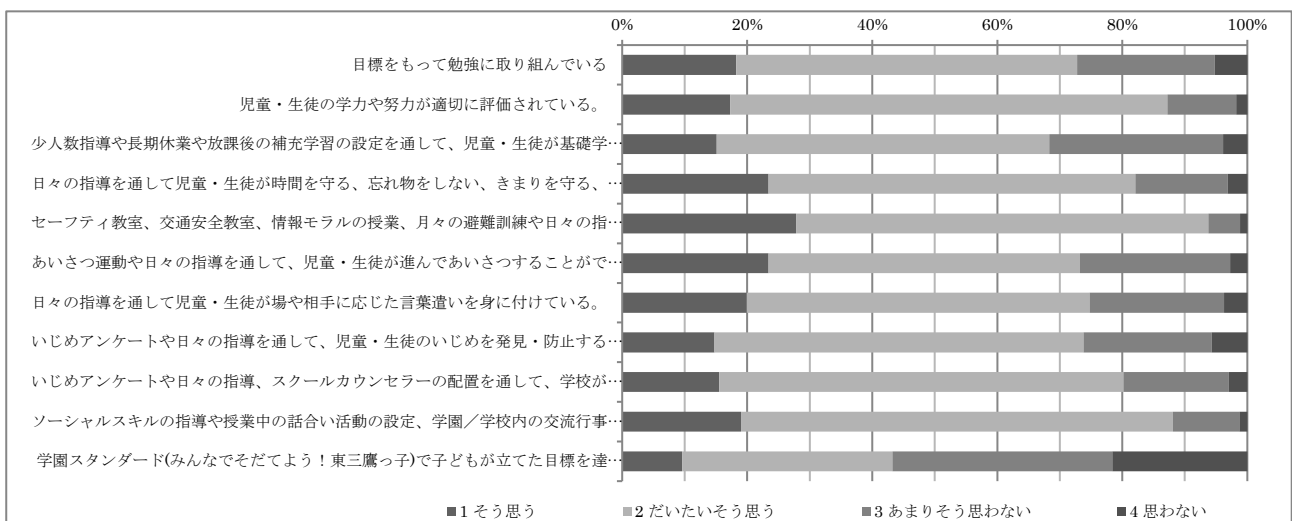
### 1 学園・学校評価アンケートについて

<調査対象> 保護者・地域、小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒

### 2 保護者による学園評価アンケート項目および結果

- (1) 学力をはぐくむ学園
  - 1 目標をもって学習に取り組んでいる。
  - 2 児童・生徒の学力や努力が適切に評価されている。
  - 3 少人数指導や補充学習の設定を通して、児童・生徒が基礎学力を身に付けている。
- (2) 人間力をはぐくむ学園
  - 1 日々の指導を通して児童・生徒が時間を守る、忘れ物をしない、きまりを守る、などの生活習慣を身に付けている。
  - 2 セーフティ教室、交通安全教室、情報モラルの授業、月々の避難訓練や日々の指導を通して、児童・生徒が自分の身を守る力を付けている。
  - 3 あいさつ運動や日々の指導を通して、児童・生徒がすすんであいさつすることができている。
  - 4 日々の指導を通して、児童・生徒が場や相手に応じた言葉遣いを身に付けている。
  - 5 いじめアンケートや日々の指導を通して、児童・生徒のいじめを発見・防止することができている。
  - 6 いじめアンケートや日々の指導、スクールカウンセラーの配置を通して、学校が児童・生徒の悩みや問題に適切に対応している。
- (3) 社会力をはぐくむ学園
  - 1 ソーシャルスキルの指導や授業中の話し合い活動の設定、学園/学校内の交流行事は、ソーシャルディスタンスを考慮した活動を行うことで児童・生徒のコミュニケーション力の育成につながっている。
- (4) 学園スタンダード(みんなで育てよう！東三鷹っ子)の活用
  - 1 学園スタンダード(みんなでそだてよう！東三鷹っ子)で子どもが立てた目標を達成するための取り組みを支援するなどして、活用している。

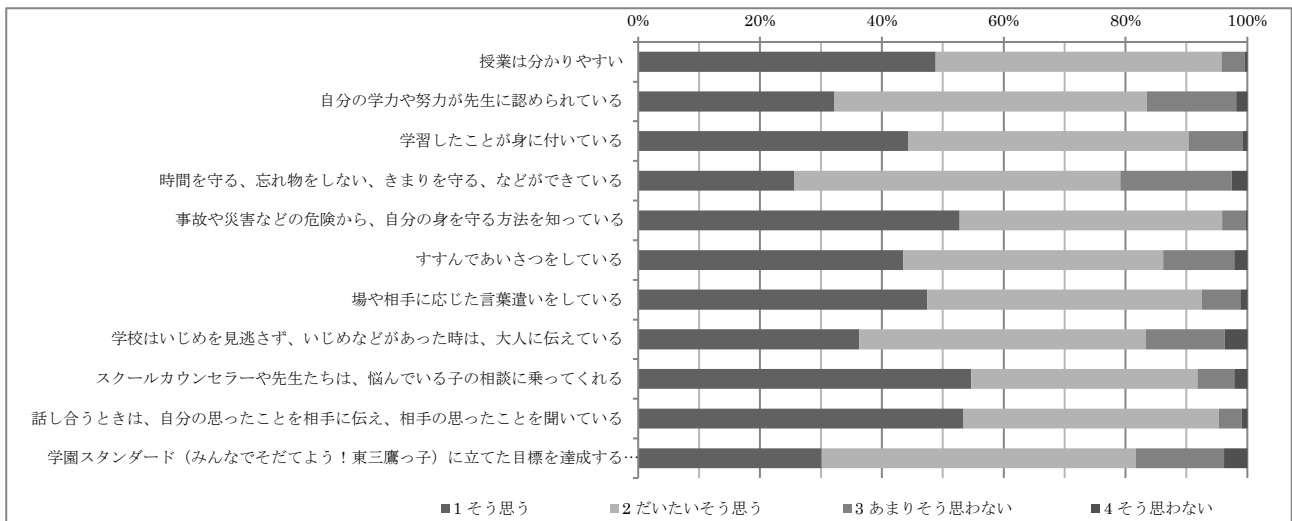
<保護者回答(対象:学園保護者全体)>



### 3 児童・生徒による学園評価アンケート項目および結果

- (1) 学力をはぐくむ学園
  - 1 授業は分かりやすい。
  - 2 自分の学力や努力が、先生に認められている。
  - 3 学習したことが身に付いている。
- (2) 人間力をはぐくむ学園
  - 1 時間を守る、忘れ物をしない、きまりを守る、などができている。
  - 2 事故や災害などの危険から、自分の身を守る方法を知っている。
  - 3 すすんであいさつをしている。
  - 4 場や相手に応じた言葉遣いをしている。
  - 5 学校ははじめを見逃さず、いじめがあったときにはなくそうとしている。
  - 6 スクールカウンセラーや先生たちは、悩んでいる子の相談に乗ってくれる。
- (3) 社会力をはぐくむ学園
  - 1 話し合うときは、自分の思ったことをしっかり相手に伝え、相手の思ったことをしっかり聞いている。
- (4) 学園スタンダード(みんなで育てよう！東三鷹っ子)の活用
  - 1 学園スタンダード(みんなで育てよう！東三鷹っ子)に立てた目標を達成するための取り組みを進めている。

#### <児童・生徒回答(対象:学園児童・生徒全体)>

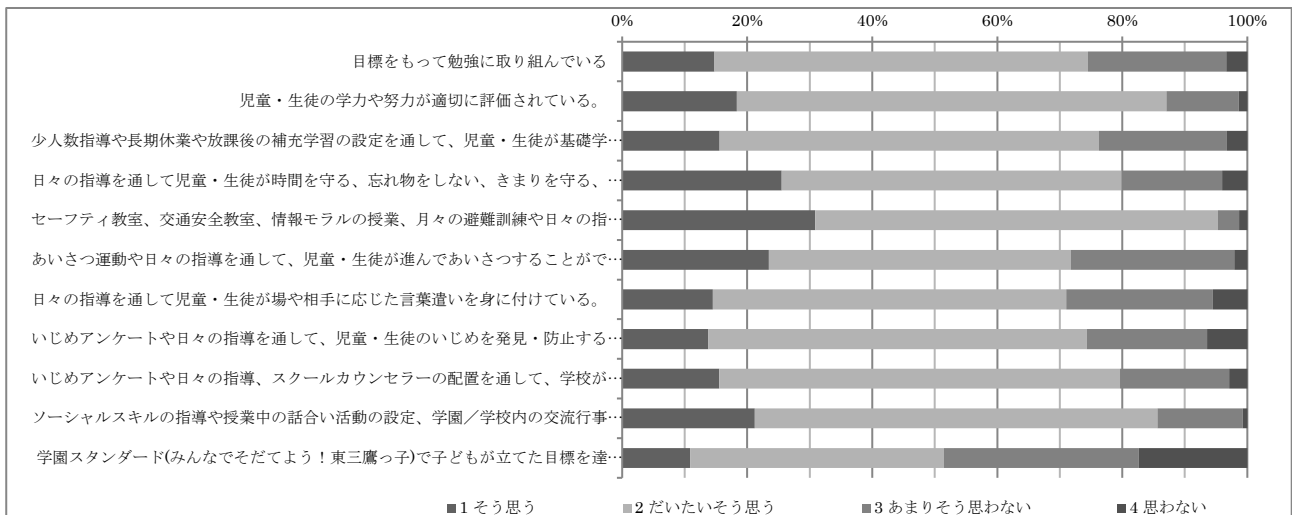


#### (3) 学園評価(全体)の結果の概要

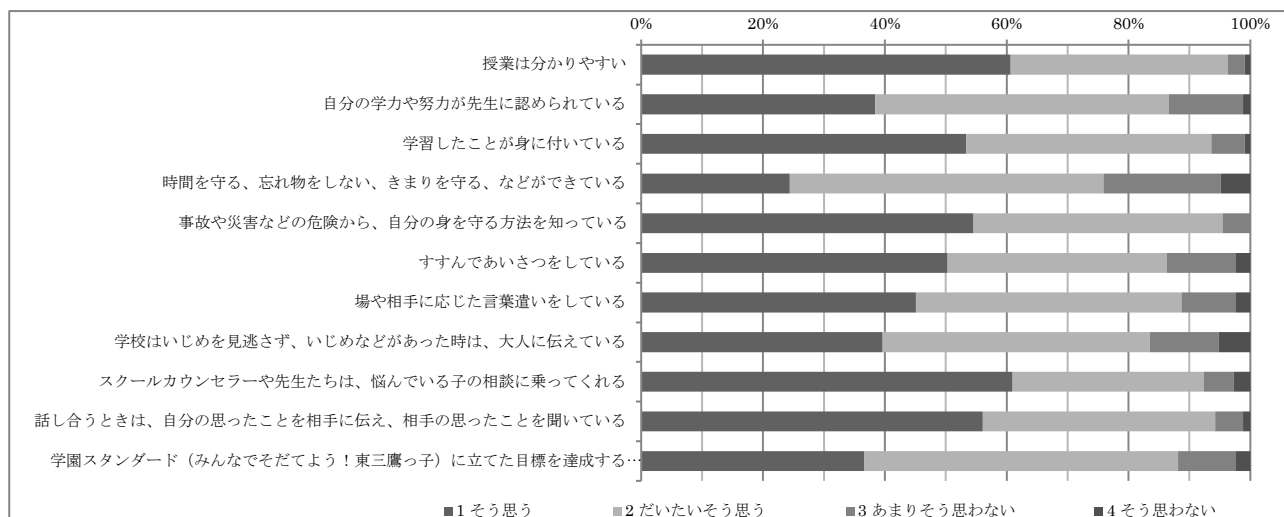
- (1) 保護者回答について  
「勉強への取り組み」「少人数授業や補習」、「言葉遣い」、「あいさつ」、「いじめの早期発見・対応」、「学園スタンダードの活用」が8割を下回っている。少人数授業や補習に関しては、未来塾の充実を図るため、児童生徒に声掛けを積極的に進め、情報交換をし、組織的に取り組んでいく。いじめに関するアンケートは引き続き実施をした上で児童・生徒への聞き取りや指導を行っていく。「学園スタンダード」に関しては形式を見直し来年度も引き続き家庭での振り返りに使っていただけるようこれからも啓発を行っていく。
- (2) 児童・生徒回答  
学園生活におおむね満足しているものの、「決まりを守る」についての自己評価が一番低かった。学習規律など、学園で組織的に情報交換、共通理解を行い、取り組んでいく。

### 4 学校評価について

#### (1) 一小保護者回答



## (2) 一小児童回答



## (3) 学校（一小）評価の結果の概要とそれに対する具体的な取組内容

### (1) 保護者回答について

今年度の結果では、「少人数指導や長期休業や放課後の補充学習の設定を通して、児童・生徒が基礎学力を身に付けている」の肯定的な回答が約7割であり、そのうち「そう思う」は1～2割程度にとどまっている。他の項目と比較してもやや低く、基礎学力の定着に対する保護者の実感が十分に高まっていない状況である。

この背景には、宿題への取り組み状況や学習の成果物の受け止めなど、家庭学習や学習の成果物を基にした振り返り方の様子が影響しているものと考えられる。

このことについて、引き続き課題として捉え、日々の授業改善と校内研究を通じた基礎・基本の徹底を図るとともに、家庭教育と連携しながら学習習慣の定着を支援していく。また、補充学習や少人数指導の活用をより効果的に行い、児童のつまずきの早期把握・早期対応に努める。

### (2) 児童回答

児童回答では、授業や学校生活に関する多くの項目で肯定的な回答が得られている一方、「時間を守る、忘れ物をしない、きまりを守る」についての肯定回答が8割を下回っている。特に、登校時刻を守れず遅刻となる児童が一定数おり、学年が上がるほどその傾向が見られる。

このことについて、学校生活の基本的な決まりについて全教職員で共通理解を図り、繰り返し指導していく。また、学習用具の準備や時間を意識した生活をする、身だしなみを整えるなど、児童自身が自分の生活を管理する力を育てる視点で指導を進めていく。

さらに、児童の生活面での様子や変容については、お便りや保護者会等を通して適宜情報提供を行い、家庭における協力を得ながら、基本的な生活習慣の確立を図っていく。

## 5 自由記述に関して（ご意見が多かったものについて、回答させていただきます。）

### ・学園スタンダードについて

→「よい取り組みだと思うが、形骸化している」「学園スタンダードは学期初めに目標設定した後学期末まで思い出すことがない。」という意見がありました。今年度は、様々な意見を受けてこれまでの学園スタンダードを改訂し、新たに文部科学省が示すキャリア・パスポートの視点を加えた「東三鷹 夢・未来デザインシート」を作成しました。来年度からは、こちらを活用していきます。このシートは、①学期ごとに各項目の目標を立てる ②行事のための「がんばりカード」の追加 ③キャリアにかかわる項目の追加（5年生から）等が新しくなっています。また、保護者の方がコメントを記入するのは4月のみとなっています。詳しくは、年度初めの保護者会にて、コミュニティ・スクール委員が説明を行います。

### ・自主学習について

→「どのように書いたらよいか分からない」という意見がありました。新学期（4月中旬）に、各学年の発達の段階に応じて、大まかな学習内容例を示したり、書き方の指導をしたりしていきます。